

# 住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第50号 2月10日  
発行 住友化学(株)アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
発行責任者 古津 昇

## 目次

農家さん訪問記 (35) . . . . .	p. 1
住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品(株) . . . . .	p. 6
野菜の病虫害防除・お役立ち情報⑩ . . . . .	p. 7
今月の肥料紹介 . . . . .	p. 8
今月のお奨め農薬 . . . . .	p. 9
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー . . . . .	p. 10
今月のご相談から . . . . .	p. 11
農薬登録情報 . . . . .	p. 12
病虫害発生情報 . . . . .	p. 13
最近の「お・・美味しい!」 . . . . .	p. 14
コラム・そば談義 . . . . .	p. 15
編集後記 . . . . .	p. 15



サザンカ (ツバキ科) メジロ (メジロ科)  
富樫 信樹画

## 農家さん訪問記(35)

### 環境と調和した農業経営を進める加藤さん!

今回の農家さん訪問では、群馬県伊勢崎市を訪ね、高品質・多品目作物の栽培で高収益を実現するとともに、環境と調和した農業経営を進めている加藤聖則さん(45才)にお話を伺いました。(訪問日:1月29日)



加藤さんご夫婦と娘さん(次女)

### はじめに!

今回訪問した群馬県伊勢崎市は東から北西にかけて男体山、赤城山、榛名山、浅間山に囲まれ、南東方向に関東平野が広がる風光明媚な場所ですが、地勢的に盆地に近く、夏は大変暑い地域です。

周辺の前橋、高崎、館林、熊谷では40℃を記録したことがあり、日本の代表的な夏の高温地帯です。逆に冬は新潟県からの山越えて乾燥した冷たい風、いわゆる「上州のからっかぜ」が吹き、時には厳しい寒さが来るところですが、好天の日が続き、

日照量が多いため、農業に適した地域でもあります。

加藤さんはこの地で農業を引継ぎ、4代目となります。若い頃は警察官になろうとも考えましたが、長男でもあり、高校卒業後、農業経営大学校に入学し、卒業後、農業に就きました。農業経営大学校時代に出来た友人が近隣の各地におり、それぞれ独自のやり方で農業経営を行っており、時々、情報交換を行って、現在の問題点や将来の計画を語りあっています。

現在、加藤さんのご家族は両親と、奥さん、長女（6才）、次女（2才）の6人家族で、収穫時にはアルバイトを6人程雇いますが、毎日の農作業は奥さんと2人でやっています。栽培している作物は春キャベツ（加工用）：2ha、秋冬キャベツ（加工用）：1.5ha、夏ごぼう：1.5ha、だいこん（漬物用）：2ha、やまといも：1.5ha、ねぎ（深谷ねぎ）：1.5ha、ほうれんそう：1haです。全体の栽培面積は10haですが、7haは借地です。以前は借地を増やすことは困難でしたが、周辺の農家の高齢化が進み、農地を貸してくれる農家が増えたので、栽培面積を増やすことが出来ました。

## 農業経営の基本は「作り上手に売り上手」！

加藤さんが肝に銘じているのは「作り上手に売り上手」です。しかし、これは簡単なことではありません。

まずは「作り上手」です。高品質の作物を毎年安定して収穫するためには「土作り」が基本です。周辺の農地では過去の過剰施肥と、土壌管理の手抜きで土壌環境が荒れてきているところもあります。これに対し、加藤さんは投入する堆肥の質にもこだわり、窒素肥料源としてではなく、土壌環境の維持を目的に植物由来の堆肥を主に使用し、肥料成分も有機肥料を適宜調整しながら使用します。「土作り」の次は「苗作り」です。



キャベツの育苗状況

### 【キャベツ】

春キャベツの育苗ハウスを見せて頂きました。ハウス内では5月の出荷に向けて育苗トレイが並び、本葉が展開しているところでした。加藤さんによれば「葉色は薄いですが、葉が分厚いものが良好な苗で、種子の購入先や育苗培土によって微妙に変化します」とのことです。種子と育苗培土は2～3種類のもの进行比较しながら、より良い組み合わせを模索しています。また、加藤さんは一日に何度も気温をチェックして育苗箱の覆いの開閉を行い、「育苗は子育てと同じで、毎日丁寧に苗を観察し、気を配って管理する必要があります。農家は時間が自由になると言われますが、実際はそのようなものではありません」と断言されています。

「作り上手」の次は「売り上手」ですが、加藤さんはキャベツを全て契約栽培とし、春キャベツ、秋冬キャベツ共に餃子用や、カット野菜の加工用として出荷しています。しかし、契約栽培となると安定した品質のものを一定量、決められた期日に出荷する必要があります。5～7月には毎日150ケースを出荷しますが、毎日の出荷量を確保するには、作付け時期をずらしたり、施肥を調整したり色々な工夫が必要で、このような出

荷体制ができる技術を確立するのに10年掛かったとのことでした。

### 【ごぼう】

次に夏ごぼうの畑を見せていただきました。群馬県の夏ごぼうは近隣の境地区で栽培が始まり、今や、地域の名産品の一つとなっています。ごぼうの播種は直播で、ちょうど本葉で出てきているところでした。ここでも加藤さんは丁寧にごぼうを観察し、未発芽の場所や、葉の色、形をチェックしていました。施肥はごぼう特有の生育を考えて、全面には施肥せず、播種した場所の横に緩効性のコーティング肥料を施肥しています。直根の下には施肥するとその個所から枝根になる為です。



ビニールマルチ内のゴボウ（白い粒は肥料）

ごぼうの栽培では特に「土作り」が重要で、加藤さん独自の工夫があります。ごぼうは根が深いので、深耕が必要ですが、トラクターを入れるタイミングにも気を使い、土壌が硬くならないように、土壌水分が少なくなった時に作業をします。また、堆肥も10a当たり3トン投入します。加藤さんによれば、毎年ごぼうの収穫量と同じ量の堆肥を投入しないと、土壌環境の劣化が進み、安定した栽培が出来なくなってくるとのことでした。夏ごぼうは市場に出荷しますが、「売り上手」の加藤さんは消費者の動向に眼を向



硬く巻いたキャベツ

けています。農家の目線では一年一作で立派に育てた長いごぼうが良品ですが、出荷の際に「撥ね品」となった細いごぼうを、スーパーの地場品コーナーで直売したところ、飛ぶように売れました。理由を消費者に聞くと、軟らかく、調理に便利で、冷蔵庫にそのまま保存できるという答えが返ってきました。そこで今年から長いごぼうではなく、短いごぼうを栽培し、消費者の要望に答えるとともに、収穫の回転を上げるため、一年二作の栽培を試験的にやる予定です。

### 【やまといも】

次はやまといもです。やまといもは1.5haで栽培していますが、その種芋はすべて自家採取のもので、手間を惜しまず良質の種芋を選別して、高品質の芋を栽培しています。収穫したやまといもは主に個人の青果卸を通じて出荷しています。加藤さんが作るやまといもは品質が安定しており、出荷したものは「安心して市場にだせる」との評判で、この青果卸とは30年来のお付

き合いが続いています。「売り上手」の加藤さんの自宅には「やまといも直売所」の赤い旗が3本立っています。やまといもは保存が利くので、自宅でも販売しており、その美味しさが評判となり、固定客が多くいます。

## 「安全と安心」な農作物が今後の農家経営の柱!



ゴボウ畑に立つ加藤さん

加藤さんに今後の展望と夢を伺いました。加藤さんの考えは次のようなものです。以前は中国産の安価な農産物に押されて、日本農家は大変苦戦をしていました。ところが、この数年中国餃子事件に代表される「食の安全・安心」が揺らぐ問題が多発しています。

このため、中国に生産地を持つ合弁会社では、生産過程での安全性の面でリスクの少ない内地に生産地を切り替えるところも出てきたことに加えて、輸入品に対する不安から、若干高価格でも日本産を購入する人が増加しています。この結果、中国からの農産物の輸入が減少して、日本農家にとっては追い風となっています。しかし、この追い風も農家が漫然としていては活かすことが出来ません。消費者の希望に合った生産物を育てるのは農家の務めで、今以上に農産物に消費者の

要望を反映した付加価値をつける事が必要です。一方、農家からも仕掛けるような、農家→流通→消費者→農家の循環するシステムを構築して、農家の実情を反映した、経営も必要です。経営規模の拡大を考えると農業法人化や中国研修生の採用も検討中ですが、人件費のことを考えると簡単には踏み切れません。テレビ番組では、農業を知らない人が農業法人を立ち上げ成功している例がありました。この人の成功の秘訣は「売れる品質のものを生産し、売りたい価格で売る工夫が必要」であり、市場任せの価格設定はしないことでした。これはまさに「作り上手に売り上手」です。

一方、新聞では長野県の果樹農家の嘆きが掲載されています。果樹農家一筋で頑張ってきたのに、老後の年金はサラリーマンと大きな差がつきます。このようなことでは後継者は育成できません。「安全で安心」な農作物をつくるには、「安全で安心」な農家の生活が必要です。後継者育成や子育てもこの視点で努力し、環境と調和した「継いでもらえる農業経営」を行い、農業で家族一緒に生活できる農業経営を目指します。

## 「安全と安心」な農作物は基本の遵守から!

農薬の散布に関して注意されていることを伺いました。キャベツの病害では、菌核病、軟腐病、腐敗病が主で、ゴボウでは黒あざ病が主な防除対象です。加藤さんはトラクターに農薬散布の記録帳を設置しており、散布日時、作物名、作物栽培履歴、使用農薬、散布濃度、散布薬量、散布時間を詳細に記録しています。また、風向きに注意し、ドリフトのない様、風の弱い早朝に散布しています。この作業は農薬使用に当たっては基本ですが、この基本をしっかり守ることが「安全と安心」な農作物を作る第一歩と考えています。

インタビューでは加藤語録とでも言うべき言葉が数多くありました。そのうち印象的な言葉を紹介します。

「作り上手に売り上手」:本文中参照

「エゴファーマ」:収穫をあげることばかりを考え、化学肥料を多用し、環境との調和を失った農家のこと。

「継いでもらえる農業経営」:本文参照

「リスクは自分の中にあり」:困難な状況を周囲のせいにならず、自分自身の努力で切り開いていく。

「金になる法則」:人々が求めないものを作って売ろうとするのは自分のエゴであり、人々が求めるものを作って、売ること。これは近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」に通じる言葉です。



やまといもの直販用のぼり

## 終わりに・・・

上州と言えれば思い出されるのが新国劇の辰巳柳太郎演ずる国定忠治です。実は加藤さんのご自宅の1kmほど南に国定忠治(本名長岡忠治)のお墓があります。



国定忠治の墓

国定忠治の実像については諸説あるようですが、300人を超える子分があり、周りのお百姓さんにも慕われた男気のある人物であったようです。加藤さんの苗を見る時の優しい目、未来を熱く語る時の自信に満ちたお顔を見ていると、国定忠治もこのような風貌の人物ではなかったかと想像してしまいました。

お土産にご自慢のやまといものをいただき、東京に帰って、いきつけの居酒屋で調理してもらいました。

レシピは以下の通りです。

おろしを海苔で挟んで素揚げ。

賽の目に刻み、卵を絡め、桜海老と塩を少々加えて素揚げ。

はモチモチとして深い味わいがあり、はサクサクとして美味しい歯ざわりでした。他のお客さんにも食べて頂きましたが、皆その美味しさに「うむー」となっていました。この味には

まさに加藤さんのご苦労が詰まっていると感動した次第です。(山脇・古津)

今回のインタビューは、「タネのオーエス」大竹社長のご協力を得て実現しました。お礼を申し上げます。

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

レインボー薬品株式会社

## 「ネコソギシリーズ」「シバキープシリーズ」で 除草剤充実のラインナップ！！

レインボー薬品は、庭や芝生など、ご家庭の周辺をきれいに整え保つための **Home Improvement 商品（家庭環境改善商品）** を幅広く発売しております。

今春は、日本グリーンアンドガーデン開発のベストセラー除草剤「**ネコソギエースA粒剤**」「**シバキープ粒剤**」に、新たに「**シバキープ 粒剤**」を加えラインナップを充実させました。

一般のお客様が特に雑草でお困りになる、空き地や駐車場など植物を植えていない広い土地の除草には、長期持続型除草剤「**ネコソギエースA粒剤**」がおすすめです。

「**ネコソギエースA粒剤**」はイソウロン・DBN・DCMU を効果的に配合した高性能の土壌処理型の除草剤で、特に多くのご家庭でお困りのスギナに優れた効き目を示し、大変喜ばれております。

お庭など、庭木には影響を与えずに雑草だけを駆除したいという場所でお使いいただくのには、「**ネコソギ W クイック微粒剤**」が非常に便利です。有効成分フルミオキサジンがたいへん素早く効果を現し、グリホサートが雑草の根まで確実に枯らしめます。樹木の下草防除にもお使いいただけますし、雑草を発芽させないという効果も併せもっています。

また、ご家庭では芝生のお手入れにもお困りのお客様が多くいらっしゃいます。

レインボー薬品では、これまで芝生用除草剤「**シバキープ粒剤**」「**シバキープAL**」を発売し、多くのご家庭でご愛顧いただいておりますが、本年はこの《**シバキープシリーズ**》に新たに「**シバキープ 粒剤**」が加わり、さらに使いやすい商品ラインナップとなりました。

「**シバキープ 粒剤**」はシアナジン・メコプロップ P カリウム塩を配合した、芝生にやさしい土壌処理型の除草剤です。初めて芝生用の除草剤をお使いになるという方でも、芝生を傷めることなく雑草のみを処理することができます。

**レインボー薬品は、今後も皆様のより暮らしやすい環境作りのお手伝いのため、新たな Home Improvement 商品を企画してまいります。**



ネコソギエースA粒剤  
3kg



ネコソギWクイック  
微粒剤  
800g



シバキープ 粒剤

[目次へ戻る](#)

**野菜の病害虫防除・お役立ち情報⑩****だいこん病害虫の適正防除で秀品率を高めよう！**

だいこん栽培では、病害虫類、生理障害、抽台及び寒害等が安定生産の阻害要因となっていることから、栽培地域の土壌・気候条件に適応した作型、用途に応じた品種の育成・栽培が行われており、更なる高位安定生産が求められています。そこで、だいこんの播種前期までの病害虫の総合的防除技術について述べ参考に供したいと思います。



イラスト：加藤

**正常発芽と株数の確保**

種子は無病種子を使用：苗立枯病の予防のため、リドミル水和剤(種子重量の0.3~0.5%)かバシタック水和剤75(種子重量の0.4%)のいずれかを種子粉衣する。

**圃場の準備**

- 1) 本畑は、完熟堆肥を十分施用するほか、石灰を施用して土壌のpHを5.5~6.8(根こぶ病ではpHを6.5以上、そうか病ではpH5.0~5.5)に管理することと、深耕による土作りが基本である。又、圃場の下層の耕盤はサブソイラーで破碎する。
- 2) 土壌病害類の萎黄病、根こぶ病及びバーティシリウム黒点病には\*ダズメット粉粒剤(土壌混和後全面被覆)、亀裂褐変症にはリゾレックス粉剤、萎黄病及び根こぶ病にはディ・トラペックス油剤(土壌注入後覆土鎮圧)などを処理し、発生被害を未然に防止する。
- 3) 降雨が停滞しやすい圃場や地下水位の高い圃場では、排水を良好にする。

**病害虫発生被害軽減技術(耕種的防除)の積極的な取組み**

- 1) 前作物(栽培終了後)の被害残渣は圃場外に搬出し、焼却処分や土中深く埋没するなどして、圃場衛生に努める。
- 2) 土壌病害類の多発生圃場では連作を避け、根こぶ病及び黒斑細菌病ではアブラナ科以外の作物を4年、軟腐病ではイネ科、マメ科作物を3~4年、萎黄病及びバーティシリウム黒点病ではユリ科、イネ科作物を4年程度、それぞれ輪作する。
- 3) 萎黄病の発病圃場では抵抗性品種を栽培する。
- 4) 軟腐病及び萎黄病の発生地域では、高温期の栽培を避ける。
- 5) ベト病及び黒斑細菌病対策では、完熟堆肥を十分施用し、生育中期以降に肥切れしないよう肥培管理に留意する。
- 6) 伝染源となる圃場内外の雑草等は、除草、処分し、圃場衛生に努める。
- 7) トラクター等作業機の付着土壌は洗浄除去し、土壌病害類の伝播を未然に防止する。

(技術顧問：村上)

\* (バスアミド微粒剤、ガスタード微粒剤)

[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介 **これまでの一発肥料を超えた究極の一発肥料がついに登場！！**

# 楽一®



## 1. 楽一はこれまでの水稲一発肥料とどこが違うの？

楽一は**世界初の倒伏軽減剤入りの究極の基肥一発肥料**です。コシヒカリ等の長稈性良食味米品種の生育に合わせ、複数の被覆肥料を組合せて最適な肥効に配合しています。これまでの基肥一発肥料とは違い、幼穂形成期の肥効を高めながら稈長の伸びを抑制することで、より安定した作柄と品質の向上を目指した革新的な基肥一発肥料です。東北から西日本までほぼ全ての地域で使用できるよう4種類の銘柄を用意しています。

## 2. 楽一の特長ってなに？

楽一の特長は、**水稲の肥培管理等が楽になる**、**②安定作柄が期待できる**、**③米の品質向上効果が期待できる**、です。楽一は基肥一発肥料のため穂肥等の追肥は不要です。また倒伏を軽減する効果があり、秋の収穫作業がスムーズとなり、収穫機械への負担も軽減できます。さらに水稲の生育に合わせ、複数の被覆肥料を組合せ最適配合することで、様々な気象条件でも、これまでの一発肥料より安定した作柄が期待できます。幼穂形成期以降も緩やかな肥効が持続することで登熟が向上し、屑米が少なく、食味向上も期待できます。



## 3. 楽一の銘柄は？ (お問い合わせは住友肥料取扱店まで)

商品名		楽一21	楽一25	楽一27	楽一20S
登録番号	肥料	86573	86574	86575	86572
	農薬	21557	21558	21559	21560
成分 (%)	N - P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> - K <sub>2</sub> O	21-11-10	25-10-8	27-10-7	20-11-11
	ウニコナゾールP		0.004		0.002
包装 (kg)		15			
使用基準	時期	耕起～代かき時			田植え時 耕起～代かき時
	量 (kg / 10a)	22.5～30 (1.5～2袋)			30～40 (2～2.6袋)
	窒素量 ((kg / 10a)	4.7～6.3	5.6～7.5	6.0～8.1	6.0～8.0
	方法	全面施用土壌混和			側条施肥 全面施用土壌混和
	回数	1回			
代表的な地域		北陸、関東平坦地、西日本	東北、関東山間部、西日本山間部	東北、3月～4月上旬田植の西日本	北陸、関東、東北、西日本
代表的な対象品種		コシヒカリ	コシヒカリ	あきたこまち、ひとめぼれ、コシヒカリ	コシヒカリ

[目次へ戻る](#)

## 今月のお奨め農薬

# 長期間にわたってダラダラと発生する水田雑草には 「初期除草剤」と「一発処理除草剤」の ダブルパンチで防除！！

水田雑草の防除に高い効果を示す一発処理除草剤は数多くあり、それぞれ特長をもっています。

例えば、田植え機に装着した機械で田植えと同時に散布できる「ヨシキタ1キロ粒剤、ヨシキタフロアブル」<sup>1)</sup>や「ドニチS1キロ粒剤」、あるいは農家のニーズにあった剤型を選べる「イッテツ1キロ粒剤、イッテツフロアブル、イッテツジャンボ」、またイネ苗を食害するスクミリングガイ(ジャンボタニシ)の被害も同時に防ぐ「ショウリョクジャンボ」等があります。

多くの水田ではこの一発処理除草剤で期待通りの効果が得られるのですが、時には期待通りの効果が得られない場合があります。これにはいろいろな原因があり、水管理がうまくいかず、土面が露出して除草剤の有効成分が均一に行き渡らなかつたり、処理時期が遅れ、除草剤を散布した時は雑草が大きくなっており、効果不足となる場合があります。このような効果不足は代かきを丁寧にして漏水防止や田面の均平化を図り、きっちりと適期に処理することで防止できます。しかし、適期に処理されても、雑草が長期にわたりダラダラと発生し、一発処理除草剤の残効が切れた頃から発生した雑草が生育し、いわゆる「取りこぼし」となる場合もあります。このようにして取りこぼす雑草の代表選手が「イヌホタルイ」と「クログワイ」です。特に「イヌホタルイ」は大量の種子が水田の土の中に存在し、多い場合は1㎡当たり数千個以上になることもあり、代かき後、黒ごま大の種子が水面に浮いてきて、軍手ですくい取ると軍手の表面が真っ黒になるほどです。

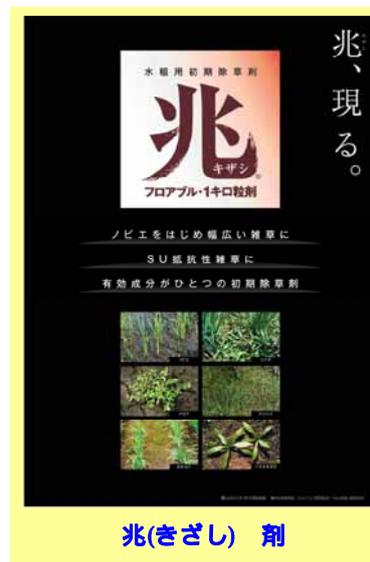
このような場合は、一発処理除草剤だけではなく、「兆(きざし)1キロ粒剤」<sup>2)</sup>、「兆フロアブル」<sup>3)</sup>、「スピフロアブル」等の初期除草剤との体系処理をお奨めします。これらの初期除草剤の処理時期は植代後～移植4日前あるいは移植直後～ノビエ1.5葉期(あるいは1葉期)です。この時期に処理することで、発生前や発生始期のノビエ、イヌホタルイ等の生育をしっかり抑制することが出来ます。続いて、この初期除草剤の残効が切れる前に一発処理除草剤を処理して、後から発生してくる雑草を防除します。このようにして初期に発生する雑草を初期除草剤で防除することで全体としての効果持続期間を拡大し、長期にわたりダラダラと発生する雑草を防除することが出来ます。

初期除草剤を移植前に使用する場合は移植4日前までの使用を厳守してください。これ以後の処理、例えば移植2日前に処理すると、有効成分が土壌表面に十分吸着する前に移植することになり、移植直前の落水によって有効成分が河川に流出し、効果の低下だけでなく、河川の汚染原因となります。

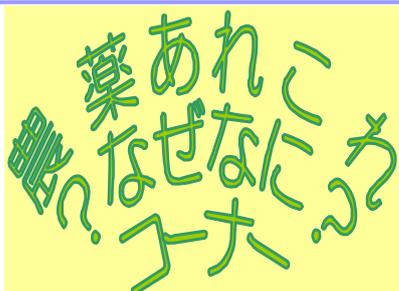
(山脇)

1) 地域限定ですが、「ヨシキタジャンボ」もあります。

2) 3)「兆1キロ粒剤」、「兆フロアブル」は今春発売予定。



[目次へ戻る](#)



## 使用時期や使用回数が書かれていない薬剤の使い方は？

### ご質問

趣味の園芸ということで、庭にちょっとした野菜を育てたり、庭木の手入れをしたりして楽しんでいる者です。

野菜にはアブラムシがつくのでお店の人に勧められて「粘着くん液剤」という薬を買って来ました。一方、庭木には白いケムシがつくので毎年スミチオン乳剤を使っています。農薬の使い方は大体ラベルを見ればわかるようになって来ましたが、いつも疑問に思っていたことがあります。

スミチオン乳剤は、樹木類で使う場合に「使用時期」が明記されていません。使用回数は6回までとあるのですが、これは、厳密に言いつつからいつまでの間に6回使用できるということなのでしょうか。いつも、なんとなく虫が発生すると使っていたのでちょっと気になりまして・・・。

また、買ってきた粘着くん液剤には、「使用回数」が明記されていませんでした。これは、どう解釈すればよいのでしょうか？無制限に使用できるということですか？もしそうなら、なぜ粘着くんは無制限で、スミチオンは制限回数があるのでしょうか？どうか教えてください。

### 質問ポイント

**使用時期が明記されていない薬剤の考え方  
いつからいつまで 使えるの？  
使用回数が明記されていない薬剤の考え方  
何回まで使っているの？**

### お答え

樹木類が対象で、「使用時期」が指定されていない場合、「総使用回数6回」とあれば、年間で6回まで使えるという意味です。このような登録がある農薬は、実際に病害虫が発生する時期に使用するものですので、使用する機会の無い真冬を境界として、シーズンで6回と考えてください。一般に、食用でない作物に使用する場合は、作物残留の懸念が無いため、使用時期の制限はゆるやかです。使用時期に制限が無ければ、必要な時にいつでも使えるので便利です。

樹木類に使用する場合、総使用回数は、実用上、「年間にこれくらい使えば問題の無い」という考えで決められており、「6回」と指定されている農薬が多いようです。

一方で、総使用回数が決められていない農薬は、必要なだけ何度でも使用できます。「粘着くん」はでんぷん製剤であり、作物残留基準がありません。このような農薬は、何回使っても安全上の懸念が生じるわけでは無いので、食用作物が対象でも、使用制限が無い場合が多いのです。有機農産物に使用できる農薬についても、使用制限の無いものも多くあります。

なお、今のところ、上記の説明に当てはまらない農薬も見られます。このような場合の使用回数制限については規制当局内でも検討事項となっており、今後、変更される可能性がありますのでご注意ください。  
(佐伯・南)

### 回答ポイント

**必要な時にいつでも使えます。  
必要なだけ何回でも使えます。**

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

## 嵐ダントツ箱粒剤について 教えて下さい！

**Q 1.** 嵐ダントツ箱粒剤の有効成分それぞれの特長を教えてください。

**A 1.** 嵐ダントツ箱粒剤は「嵐」と「ダントツ」の2成分を混合した、イネの主要病害虫を長期間にわたり防除する「育苗箱専用の殺虫殺菌剤」です。

**嵐**（一般名：オリサストロビン）はBASFアグロ株が開発したストロビルリン系の新規殺菌剤で、いもち病と紋枯病に有効かつ長期間にわたり効果が持続することにより、使用薬剤成分数を減らし、散布回数も低減できる、時代にマッチした剤です。

**ダントツ**（一般名：クロチアニジン）は住友化学株が開発した、ネオニコチノイド系化合物で、幅広い害虫に低濃度で有効な薬剤です。

**Q 2.** いもち病、紋枯病の両病害に有効とのことですが、それぞれの病害に対する効果は十分期待出来るのですか？

**A 2.** **いもち病**に対しては、安定した効果と優れた残効性を発揮するので、育苗箱1回処理で「穂いもち」まで有効です。ただし、耐性菌の発生リスクを軽減させるためにも、作用性の異なる剤を穂いもち防除適期に処理することをお奨めします。

**紋枯病**に対しても、安定した効果を発揮します。

**Q 3.** は種時処理に適用拡大の可能性はありますか？

**A 3.** 嵐ダントツ箱粒剤は「は種時処理」への適用拡大は予定していません。今後、「移植同時処理」を推進していきます。

**Q 4.** 嵐ダントツ箱粒剤の技術資料の中に、「耐性菌の発現を回避するために…」との記載があり、その中に採種圃での使用は避けるとありますが、採種圃での箱処理は出来ないのですか？

**A 4.** 採種圃での使用は避けて下さい。採種圃で耐性菌が発生すると、耐性菌を保有した種籾が各地に広がる恐れがあります。

なお、耐性菌発生の危険性を避けるため、種子は毎年更新し、種子消毒をしてください。**嵐剤**は年1回使用とし、体系防除を行う場合は作用性の異なる薬剤と組み合わせ、同系統のストロビルリン系薬剤との連用は避けてください。



嵐ダントツ箱粒剤

(小川)

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報**

新規登録

地域限定品

平成20年12月17日登録

〔除草剤〕ヨシキタジャンボ 農林水産省登録 第22309号

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (東北) ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ リ	移植直後～ ルエ1.5葉期 ただし、移植 後30日まで	砂壤土 ～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	1回	水田に 小包装 (パック)の まま投げ 入れる。	東北
			壤土 ～ 埴土				関東・東 山・東海 の普通期 及び 早期栽培 地帯

イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

適用拡大 1月21日、2月4日の主な適用拡大内容です

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	プレオフロアブル	害虫追加	アスパラガス	ヨトウムシ	1000倍 100 ～300L /10a	収穫前日まで 2回以内 散布
		使用方法追加	だいず	ハスモンヨトウ	16倍 800ml/ 10a	収穫7日前まで 2回以内 <b>無人刈 り機による散布</b>
	ベストガード 水溶剤	作物追加	<b>せり (水耕栽培) ガラス室 等の施設</b>	アブラムシ類	2000倍 100 ～300L /10a	収穫14日前まで 3回以内 散布
	ベストガード 粒剤	害虫追加	すいか	コナジラミ類	1～2g/ 株	定植時 1回 植穴処理土壌混和
				アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期 1回 株元処理
		害虫追加	ピーマン ししとう	コナジラミ類 (育苗期に追加 されました)	1g/株	育苗期 1回 株元処理
	ネマモール乳剤	作物名変更	<b>かんきつ みかん 負の拡大です</b>		使い方は元のかんきつに 準じる	
ネマモール 粒剤30	作物名変更	<b>かんきつ みかん 負の拡大です</b>		使い方は元のかんきつに 準じる		
殺虫 殺菌 剤	ブラシンキラップ 粉剤DL	害虫追加	稲	ウンカ類	3～ 4kg/10a	収穫21日前まで 2回以内 散布

(佐伯・南)

[目次へ戻る](#)

**病害虫発生情報**

1月30日～2月4日

**茨城県**

\*1月30日 特殊報/きゅうり/キュウリ黄化えそ病 (ミナミキイロアザミウマからの媒介)

当社登録剤: ベストガード水溶剤・粒剤、ダントツ水溶剤・粒剤、アグロスリン水和剤・乳剤、  
バッサ乳剤詳細は: <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>**鳥取県**

\*2月3日 注意報/らっきょう/白色疫病

当社登録剤: 該当なし

詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/tottori/>**香川県**

\*2月4日 注意報/冬レタス/灰色かび病

当社登録剤: スミレックス水和剤、スミブレンド水和剤、  
ゲッター水和剤、ベンレート水和剤詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>**愛媛県**

\*2月4日 注意報/たまねぎ/白色疫病

当社登録剤: ボルドー (水和剤)

詳細は:

[http://www.pref.ehime.jp/060nourinsuisan/130byocyubojo/00002406030129/byocyub  
ojo/](http://www.pref.ehime.jp/060nourinsuisan/130byocyubojo/00002406030129/byocyub<br/>ojo/)**佐賀県**\*2月2日 特殊報/いちご/ハラアカモリヒラタ  
ゴミムシ

当社登録剤: 該当なし

\*2月2日 特殊報/カナリーヤシ (フェニックス)  
/ヤシオオオサゾウムシ

当社登録剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo>**大分県**

\*2月1日 注意報/トマト/灰色かび病

当社登録剤: ゲッター水和剤、ベンレート水和剤、  
ポリオキシAL水溶剤「科研」、スミブレンド水和剤、  
スミレックス水和剤、スミレックスくん煙顆粒

\* 下線の剤はトマトに薬害が生じやすいので注意してください。(特に厳寒期)

詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/oita/>

キュウリ黄化えそ病 (病斑)



灰色かび病 (花と果実で発生)

(柳原)

[目次へ戻る](#)

# 最近の「お・・美味しい!」

## いつまで続くか わからないけれど..

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい!」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ!」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪♪

**突然ですが**、皆さんは「幕の内派」?それとも「丼(どんぶり)派」?

私はいろいろおかずが少しずつ入っている「幕の内派」です。丼のように、1品物も嫌いではありませんが、食べるのが遅いので途中で飽きてしまうことがあります。最低3品!違うおかずが無いと満足できない「めんどくさい」嗜好の持ち主です(笑)。最近、写真にあるような大きなお皿に、少しずつおかずを載せた「カフェ風プレート(と勝手に呼んでいる)」に凝っています。

**これって、一見大変そう**に見えるかもしれませんが、全てが手作りではないし、普通ならおかずとして「配膳



ある日の献立



次の日の献立

する」まで行かないような「ちょっとしたもの(漬物とか)」も、このプレート上では、幅をきかせることができるので思った以上にラクなんです。最初(週の始め)だけちょっとがんばって、2、3品常備菜をそれぞれ多目に作ってしまえば、あとはラク。それぞれ無くなるスピードも違うので、1つ無くなれば1つ補充するといった感じです。足りなければ、外で買って来ます。でも、この中に紛れてしまえば、それもあんまり「目立ちません」(笑)。

**この「カフェ風プレート」**種類が多いので視覚・味覚的に満足なものもちろんですが、なんとってお皿が一枚なので後片付けがラク!(それか(笑))。それにね、いろいろな食材を少しずつ食べられるので、栄養的にも良い感じです。また、種類が多いから全体量を適量(腹八分目)に調整できます。おかげで、食後に「満腹で動けない」という状態にはなりません(笑)。体調も以前に比べると良いみたいで、どっちかと言うと「井派(毎日カレーでも気にならない)」の夫もどうやら気に入った様子です。

**このように**、良いことづくめの「カフェ風プレート」ですが、私が飽きてしまえばお終いです(笑)。なるべく気軽に長く続けたいと思います。

さて、いつまで続くやら・・・? (佐伯)



その次の日の献立

味噌汁(野菜と揚げ玉)・ひじき・菜の花しらす・根菜煮物・牡蠣フライ(購入)・たくあん  
味噌汁(野菜と卵)・ひじき・菜の花しらす・根菜煮物(カレー味)・レバー甘辛煮(購入)  
紫たまねぎのマリネ・たくあん  
味噌汁(野菜と卵)・ひじきの卵とじ・菜の花しらす・根菜煮物・しめさば・納豆・紫たまねぎマリネ

[目次へ戻る](#)

**コラム・そば談義 50**

先日、兵庫県三木市にある「山田錦の館」を訪れた。

ご存知の通り、山田錦は酒米（米粒と心白《澱粉質》が大きい）の代表品種である。県農試で育種され三木市や加東市などを中心に県内で約3,500ヘクタール(全国の80%)栽培されている。本品種育成の背景には、「灘の酒」と呼ばれる多くの酒造会社からの強い要請があったものと思われる。その「灘の酒」の興りは、酒造りに適した水（宮水：六甲山の伏流水《硬水》）が、神戸市灘区から西ノ宮にかけて湧き、それを利用した酒のことである。その歴史は古く室町時代に始まり、京・大阪を控え地の利もよく、江戸時代になると「下り酒」と称して樽廻船に積み盛んに江戸へ出荷した。その後、時代が移っても、兵庫県は日本酒の生産日本一という地位は揺るぎない。

さて、「山田錦の館」には農薬安全使用講習会の講師役として招かれた。農業普及センターのFさんに会場まで車で送迎して頂いた。その車中では、日本酒やそばについて話が弾んだ。そのひとつに吟醸酒や大吟醸酒を醸造する場合は、精米歩合60~50%以下だが、その削ったあとの米粉はどうしているのだろう。この手の話は飲み会の席でも時々話題になるが、誰も本当のことは知らない。そこで、Fさんに尋ねると、米粉は「煎餅」や「玄米パン」、「麺類」などに加工されているそうだ。また、化粧品（増量）にも利用されているとのこと。もう一つ意外な話として、「山田錦」の種子は種苗法で県外に出すことは禁じられているとのこと。しかし、多くの県で栽培しているのをみると、種苗法施行前か縁故米などで流出したものと考えられるが、今となったら闇の中だそうだ。

さて、90分の講習会（参加者80名以上、平均年齢70歳以上）も無事に終わり、同じ建物にある直売所を覗いてみた。陳列棚に並んでいる農産物は、講習会に参加した人達が作っているとのこと。講習会で不思議に思ったのは、船を漕ぐ（居眠り）人がいなかったことだ。Fさんに尋ねると、直売所に作ったものを並べるとお金が得られる。その喜びが元気の源になっているのだろう。そのため、少しでもいいもの作ろうと仲間と競走するようになり、それが受講態度にも現れているようである。また、面白いことに、この年代は自分のものにお金を使うのが苦手だそうで、お孫さんや家族のために使うのは大きな喜びとのこと。幾つになってもお金を稼げれば、人は元気になれるのだと納得するのである。

帰りの新幹線で、そば前用に買った「しぼり立て」の酒をチビリチビリ飲みながら、定年後も元気に働いて、まだ見ぬ孫に何か買ってやるのも悪くはないかと、ふと思うのである・・・（古津）

**編集後記**

立春が過ぎた頃から、庭の梅がほころび始めました。今年は例年と比べて寒いような気もしますが、それでも春の息吹を感じます。

さて、本誌巻頭に、「農家さん訪問記」を掲載していますが、i-農力会員様の中で「うちに取材に来てよ！」という生産者の方は、ぜひお申し出ください。喜んで取材班が参上致します。正式な応募については、来月号に詳しく掲載致します。



イラスト：加藤

**ご案内** 「i-農力だより」表紙の花鳥画を描かれている富樫信樹氏が個展を開催します。

会期：2月22日(日)~28日(土)、時間：10:00~19:00

会場：有楽町 東京交通会館 地下1階 ギャラリー エメラルドルーム 03-3214-4288

[目次へ戻る](#)